

総合評価結果報告書

施設の名称	藁科都市山村交流センター		
課名	中山間地振興課		
指定管理者名	藁科交流センター運営委員会		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和4年5月27日（金）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 気田 敏弘（中山間地振興担当部長） ②委員 杉山美樹江（公益財団法人するが企画観光局地域連携部長） ③ 〃 松下由美子（静岡県温泉協会書記） ④ 〃 靱矢 雅浩（賤機都市山村交流センター館長） ⑤ 〃 杉本 守（参与兼農業政策課長）		
評価点 (各委員平均点)	76.2点	評価	A・ B ・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	<p>管理運営業務は業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行され、経費の削減に努めながら堅実な営業でコロナ禍においても一定の集客を図ることができた。</p> <p>新たな試みとして、わらびこマルシェの開催やドッグランの整備などさまざまな利用者を取り込み交流人口の増加につなげようとする様子がうかがえる。</p> <p>利用者アンケートでは、もともと高い評価を得ている中で、さらに良い評価を得ており、施設運営における指定管理者の努力が見られる。</p> <p>地域にある飲食・物販施設などにより一層の連携協力を図ることで集客につなげるなど、地域のけん引役となるような施設運営を期待したい。</p>		

総合評価結果総括表

施設の名 称 [藁科都市山村交流センター]
 指定管理者名 [藁科交流センター運営委員会]

課名[中山間地振興課]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認	【配点50点】					
(ア) 事業計画書等に示された事業が予定どおり、円滑に実施された。	17	15	16	14	16	15.6
(イ) 施設の保守・管理・点検・清掃等が適切に実施された。	7	8	7	8	8	7.6
(ウ) 適正な能力を持った職員が適正な人数配置された。	7	7	7	8	7	7.2
(エ) 予算に基づき適正に執行されているか。	8	8	8	9	8	8.2
小 計	39	38	38	39	39	38.6
2 指定管理者の創意工夫	【配点15点】					
(ア) 指定管理者の技術・経験を活かした事業が実施された。	7	7	7	7	8	7.2
(イ) 経費削減に関する工夫がなされているか。	4	4	4	4	4	4.0
小 計	11	11	11	11	12	11.2
3 市民（利用者）のサービスの向上	【配点15点】					
(ア) 利用者アンケートにおいて高い評価を受けた。	8	7	8	8	8	7.8
(イ) 利用者の苦情等に速やかに対応した。	4	4	4	4	4	4.0
小 計	12	11	12	12	12	11.8
4 施設固有の評価項目	【配点20点】					
(ア) 交流人口の増加を図る工夫がされた。	8	7	8	7	8	7.6
(イ) 地域振興施設としての役割が果たされた。	7	7	6	7	8	7.0
小 計	15	14	14	14	16	14.6
合 計	77	74	75	76	79	76.2

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】

- ・アンケートにおいて、職員の態度の評価が平成30年度から大幅に改善されており、努力が見られる。
- ・地域の地場産品をマルシェに出して地元色を出している。
- ・デマンドコントローラーの活用をしている。
- ・経費削減を意識して取り組んでいる。

【B評価委員】

- ・わらびこマルシェの開催、ドッグラン、キッズパークの整備など交流人口増加のために取り組んでいる。
- ・アンケートで施設の高評価が82.9%から96%に上昇している。
- ・デマンドコントローラーの活用をし、電気料の見直しを行っており、他の施設よりも調査力が高い。

【C評価委員】

- ・毎月第2日曜日にわらびこに行けばマルシェが開催していると知ってもらえるように印象付けていこうとしている。
- ・ドッグラン、キッズパークとして活用をしている。
- ・デマンドコントローラーの活用をし、経費の削減に努めている。

【D評価委員】

- ・堅実な営業でコロナ禍においても一定の集客を図ることができた。
- ・ファミリー層への働きかけを行うことで利用者数を確保することができている。
- ・地域に向けた事業展開の中で、これまでの利用者の声を改善につなげようとしている。
- ・地域の利用者の声を施設運営に即座に反映することが、施設の利便性向上につながっている。
- ・当該地域には、飲食・物販施設があることから、より連携協力を図ることで集客につなげ、地域のけん引役となるよう期待したい。

【E評価委員】

- ・毎年収支が安定している。
- ・多様化する要望に柔軟に対応している。
- ・フリーWi-Fi設置、子供連れ利用者の増加等、交流しやすさを高めている様子が見られる。
- ・コロナ禍に対応した運営、光熱費の削減に努めている。
- ・ドッグランの設置や畑での農作物の収穫など、さまざまな利用者を取り込もうとする努力が評価できる。

評価委員会としての意見

- ・利用者アンケートでは、もともと高い評価を得ていたが、平成30年度からさらに良い評価を得ており、指定管理者の努力が見られる。
- ・地域の利用者の声を施設運営に即座に反映することが、施設の利便性向上につながっている。
- ・交流人口増加のため、さまざまな利用者を取り込もうとする様子がうかがえる。
- ・同地域には、飲食・物販施設があることから、より連携協力を図ることで集客につなげ、地域のけん引役となるよう期待したい。